## 2023年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査 調査媒体:大気 (pg/m³) 地方公共団体:宮崎県

調査地点:宮崎県衛生環境研究所(宮崎市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	28	<b>※</b> 0.8	<b>※2.4</b>
[1-1] モノクロロビフェニル類	2.5	0.02	0.06
[1-2] ジクロロビフェニル類	12	0.1	0.4
[1-3] トリクロロビフェニル類	7.3	0.1	0.3
[1-4] テトラクロロビフェニル類	4.0	0.2	0.5
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	nd	0.03	0.08
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5-テトラクロロビフェニル (#81)	nd	0.02	0.04
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	1.1	0.1	0.4
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	tr(0.03)	0.02	0.06
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#114)	nd	0.02	0.05
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#118)	0.07	0.03	0.07
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#123)	nd	0.02	0.06
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5-ペンタクロロビフェニル (#126)	nd	0.01	0.03
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	0.76	0.05	0.13
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5-ヘキサクロロビフェニル (#156)	nd	0.02	0.06
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	nd	0.01	0.03
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	nd	0.02	0.06
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	nd	0.02	0.04
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	tr(0.14)	0.08	0.21
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5-ヘプタクロロビフェニル (#170)	nd	0.03	0.07
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	nd	0.03	0.08
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	nd	0.02	0.05
[1-8] オクタクロロビフェニル類	nd	0.09	0.23
[1-9] ノナクロロビフェニル類	nd	0.04	0.10
[1-10] デカクロロビフェニル	nd	0.02	0.06
[2] HCB(ヘキサクロロベンゼン)	97	0.1	0.4
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	5.8	0.2	0.5
[16] ペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	8.7	0.2	0.5
[17] ペンタクロロベンゼン	51	0.08	0.21
[21] ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	3,300 2,900 3,000	20	50
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	tr(1,100)	<b>%600</b>	<b>%</b> 1,700
[23-1] 塩素化デカン類	190	40	140
[23-2] 塩素化ウンデカン類	tr(430)	190	550
[23-3] 塩素化ドデカン類	tr(310)	210	630
[23-4] 塩素化トリデカン類	tr(180)	130	400
[25] ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	4.7	0.2	0.5

(注1) tr: 検出下限以上定量下限未満

(注2) nd:不検出

(注3) ※:それぞれの同族体ごと、各調査対象物質ごと又は同一アルキル鎖長ごとの合計値